学びの庭

文責　瀬古口

平成二十五年十二月号

自分に質問してみる！

自問自答をするとき、現状を悲観的に見ると、間違った方向に行ってしまいます。言い換えたり、質問の方向性を変えたりして、あくまでも前向きな自分をつくる。そんな質問にしてみましょう。

①「なぜ私はここにいるのだろう？」と、過去に引き戻される質問ではなく、「ここから私はどこに行こうか？」と、意識を現在に戻す質問にする。現状を一晩で変えることは出来ないが、目的地は一晩で変えることが出来る。

②「何で私が？」という被害者意識で考えるのではなく、「私だよね？」と考えてみる。

③「どうすればやせられるのだろう？」というような結果を求める質問ではなく、「やせるためにはどんな人間になればいいのだろう？」といった変化を求める質問をする。なりたい自分になることを考える。

④「なぜ誰も話しかけてくれないんだろう？」という受動的な質問ではなく、「なぜ自分はあの人に話しかけに行かないのだろう？」という能動的な質問を考える。

⑤「いつになったら成功するんだろう？」と、結果だけ追い求めるのではなく「今日少しでも前に進めることができたことは何だろう？」と考える。結果だけを見ているときは何も変わらないが、変化に目を向けると結果がついてくる。

いずれも、結果として意欲を持ってやれるかどうかが大事。苦しいだけのことは成果が出ない。

十年後の自分のイメージを思い浮かべ、自分に楽しくなるような質問をしてみよう！「十年後の自分にどんなことを聞いてみたいですか？」三つ考えてみてください。

○　○　○

一月十三日は「成人の日」です。奈良市では中央体育館で成人式が行われます。中学三年生の「五年後」の姿がそこには私（瀬古口）も出席しますまで「どんな風に成長しているか」を見られるのが楽しみです。十六才から二十歳

先日、一条高校の上山校長先生のお話を聞く機会がありました。一条高校と富雄中は「学校が好き」という生徒が多いという共通点があります。上山先生は、県立高校・一条高校で長年「社会科」の先生として教鞭を執られ、今は「奈良県高野連」の会長として活躍されています。高校の先生から見て中学生は・・・・・・という興味深いお話でした。

○一条高校は部活動をしている生徒がすごく多いそうです。そして、部活動をしている生徒ほど「燃えていて、規範意識が高い」そうです。

○勉強をがんばれる生徒は、部活動もしている。

○しかし、一年生は年々幼くなっている（幼稚）

○コミュニケーション力が無いので、「自分の良いものをうまく表現できない」生徒が多い。

○今年の入学式で例年になくビックリした。「式中しゃべっている生徒が居た。」場に応じたマナーが心配。

また、一条の先生方に「どんな一条高校にしたいか」というアンケート結果は。

○豊かな人間性を育てるために、ホームルームを大切にしたい。

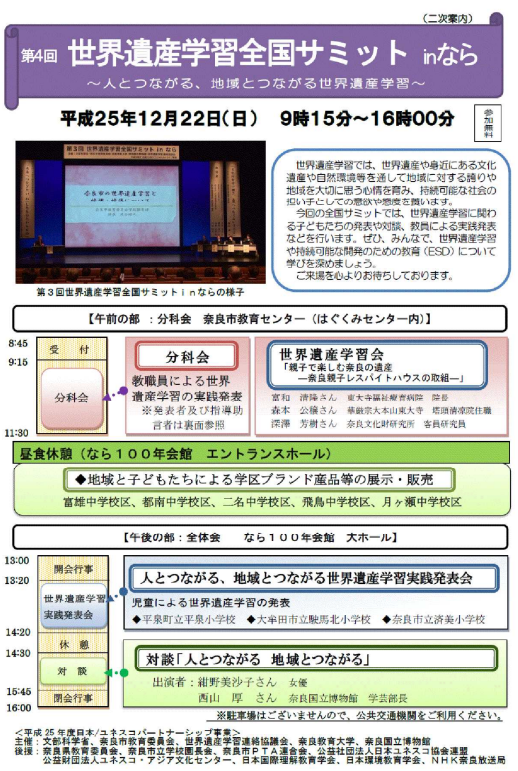
○違いを認める子ども達をつくりたい。

○感謝する心を伝えられる生徒を育てたい。

富中と全く同じだと思いました。

Topics（世界遺産サミット！）

今年の世界遺産サミットで「富より団子」の発表があります。コーディネータの新谷さんとボランティアクラブの神谷庄村さんが発表してくれます。


（二次案内）

第4回 世界遺産学習全国サミット inなら

～人とつながる、地域とつながる世界遺産学習～

平成25年12月22日（日）　9時15分～16時00分

参加無料

第３回世界遺産学習全国サミットｉｎならの様子

世界遺産学習では、世界遺産や身近にある文化遺産や自然環境等を通して地域に対する誇りや地域を大切に思う心情を育み、持続可能な社会の担い手としての意識や態度を育んでいます。
今回の全国サミットでは、世界遺産学習に関わる子どもたちの発表や対談、教員による実践発表などを行います。ぜひ、みんなで、世界遺産学習や持続可能な開発のための教育（ESD）について学びを深めましょう。
ご来場をお心よりお待ちしております。

【午前の部　：分科会　奈良市教育センター（はぐくみセンター内）】

8:45 / 9:15　受付

分科会

教職員による世界遺産学習の実践発表
※発表者及び指導助言者は裏面参照

世界遺産学習
「親子で楽しむ奈良の遺産
―奈良親子レスパイトハウスの取組―」

富和　清隆さん　東大寺総合事務所　所長
森本　公穣さん　華厳宗大本山東大寺　塔頭清涼院住職
深澤　芳樹さん　奈良文化財研究所　客員研究員

11:30

昼食休憩（なら１００年会館　エントランスホール）

◆地域と子どもたちによる学区ブランド産品等の展示・販売
富雄中学校区、都南中学校区、二名中学校区、飛鳥中学校区、月ヶ瀬中学校区

【午後の部：全体会　　なら１００年会館　大ホール】

13:00　開会行事

13:20　世界遺産学習実践発表会

人とつながる、地域とつながる世界遺産学習実践発表会
児童による世界遺産学習の発表
◆平泉町立平泉小学校　◆大牟田市立駛馬北小学校　◆奈良市立済美小学校

14:20　休憩

14:30　対談

対談「人とつながる　地域とつながる」
出演者：緒野美沙子さん　女優
西山　厚　さん　奈良国立博物館　学芸部長

16:45　閉会行事

16:00

※駐車場はございませんので、公共交通機関をご利用ください。

＜平成25年度日本/ユネスコパートナーシップ事業＞
主催：文部科学省、奈良市教育委員会、世界遺産学習連絡協議会、奈良教育大学、奈良国立博物館
後援：奈良県教育委員会、奈良市立学校園長会、奈良市ＰＴＡ連合会、公益社団法人日本ユネスコ協会連盟
公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター、日本国際理解教育学会、日本環境教育学会、ＮＨＫ奈良放送局

分科会　希望する分科会の番号（下記一覧表参照）を第２希望までご記入ください。先着順で受け付けます。なお、会場の都合上、第２希望に変更していただく場合は、こちらから連絡をします。

番号	テーマ	発表校など	発表者	タイトル	概要	指導助言者
1	世界遺産	平泉町立 平泉小学校	教諭　吉田よしみ	幼保小中の系統的な世界遺産・地域学習「平泉学」	ふるさとを語れる人づくりを目指した幼保小中が連携した「平泉学」の取組	奈良教育大学 教授　岩本　廣美
		奈良市立 六条小学校	教諭　宮城　洋平 教諭　福住　誠	知りたい！伝えたい！世界遺産	奈良の魅力をパンフレットにまとめ、福井市の六条小学校へ届けて交流し郷土を誇る取組	
2	地域遺産・世界遺産	桜井市郷土読本 作成委員会	教頭　半田　孝 教諭　大矢根　祐子 教諭　植松　朋之	桜井の歴史発見Q&A ～さくらいを好きになろう！～	市内の小学校区ごとに歴史に関係のあるQ&A集を作成する取組	奈良県教育委員会 事務局 指導主事 北浦　義弘
		奈良市立 済美南小学校	教諭　村上　毅	残していくということ	薬師寺東塔の修復から、その素晴らしさや人々の努力・願いに気付く取組	
3	伝統文化	奈良市立 伏見幼稚園	教諭　播本　洋美	蚕でつながる　いま・むかし	「すごい、ふしぎ、なぜ、かわいそう」飼育体験から学んだことを発表	奈良市教育委員会 事務局 課長　石原　伸浩
		奈良市立 二名中学校	教諭　江村　圭造	世界遺産のまち・ならを墨で描く ～墨で描く名宝の美～	興福寺国宝館の収蔵作品等をモチーフとした水墨画の制作の取組	
4	自然環境	姫路市立 城北小学校 奈良市立 精華小学校	教頭　松岡　準人 PTA会長　小原　慶太郎 教諭　上津原　啓至	ジャコウアゲハの飛び交う街に ～伝説と"ひと"のつながりに学ぶ～ ふるさととつながる精華の子 ～　里山再生プロジェクト　～	"ひと"の願いやつながりを大切にした取組を市蝶ジャコウアゲハの学習を通して紹介 ニッポンバラタナゴとの関わりや干し柿作りなどを通して地域とつながる取組	奈良教育大学 教授　森本　弘一
5	自然環境	多摩市立 多摩第一小学校	教諭　森田　啓子	環境を考えよう ～多摩川を調べよう～	川での探究活動を通した問題解決学習の取組	立教大学 教授　阿部　治
		大牟田市立 吉野小学校	教諭　宮崎　紀子 講師　福田　公子	吉野小　生き生きビオトープ 大作戦！	子どもたちがビオトープづくりに挑戦した地域にバラを取組を紹介	
6	地域連携	大牟田市立 中友小学校	教頭　橋本　一郎	つながりを深める「子ども民生委員活動」	民生委員と共に具体的な活動を通して、地域の高齢者との関わりを深める取組	奈良教育大学 副学長 加藤　久雄
		奈良市立 富雄中学校	富雄中学校区地域教育協議会 総合コーディネーター 新谷　明美 富雄中学校ボランティア部副部長 神谷　朱里・庄村　朱加	地域と学校をつなぐ「富より団子」の誕生	中学生と地域が一緒になって開発し、商品化した「学区ブランド産品」を紹介	
7	地域連携	屋久島町立 金岳小・中学校 奈良教育大学	校長　宇都　修 専任講師　中澤　静男	あこがれをもち、主体的な行動で実現を目指すESD 隨前高田市文化遺産調査団 ～高田松原と中吉丸をめぐって～	世界自然遺産の屋久島から12km離れた島の自然や人のつながりを紹介 隨前高田市の要請を受けて行った文化遺産調査を「互恵性」をキーワードに報告	ESD 世界会議 推進局 局長　浅井　孝司
8	学習会	東大寺福祉療育病院　院長　富和　清隆 華厳宗大本山東大寺　塔頭清涼院住職　森本　公穣 奈良文化財研究所　客員研究員　深澤　芳樹		親子で楽しむ奈良の遺産 ～奈良親子レスパイトハウスの取組～	難病や障害をもつ子どもと家族が介護する心者とされる者との関係から解放され、一緒にゆったりとした時を過ごし、親子がともに生きることの意味と喜びを共発見する取組	